

平成 30 年度  
上半期

# 幸手市の家計簿

市では、毎年 2 回に分けて市の財政がどのように運営されているかを公表しています。  
今回は、平成 30 年度上半期(平成 30 年 4 月 1 日～ 9 月 30 日)の予算の執行状況をお知らせします。

問合せ 一般会計・特別会計 財政課 ☎ (43)1111 内線 253・FAX (43)3783  
企業会計(水道事業) 水道管理課 ☎ (48)0050・FAX (48)0120

## 一般会計

予算現額 194 億 6,363 万円 - 市の人口 51,482 人(平成 30 年 9 月 30 日現在) -

収入済額 91 億 5,291 万円 (47.0%)

市民 1 人あたりの市税負担額 70,519 円

## 歳入

## 歳出

支出済額 70 億 8,145 万円 (36.4%)

市民 1 人あたりに使ったお金 137,552 円

### 予算現額

そのほか 21 億 4,853 万円  
使用料、手数料など

繰越金 12 億 3,867 万円  
平成 29 年度決算による平成 30 年度予算への繰越金

市債 18 億 4,340 万円  
市が借り入れるお金

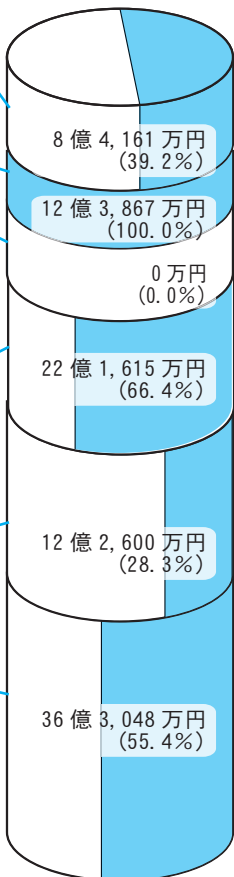
国・県からの交付金 33 億 3,900 万円  
国・県が徴収した税などの中から市が交付を受ける地方交付税など

国・県からの補助金 43 億 3,768 万円  
国・県から市が交付を受ける補助金・負担金など

市税 65 億 5,635 万円  
市民税、固定資産税など、みなさんに納めていただく税金

グラフは下記のとおり表記しています。

上段：収入済額・支出済額  
下段：収入率・支出率  
( で表示)



### 予算現額

そのほか 20 億 1,265 万円  
消防費(消防、救急、防災・災害対策)など

衛生費 12 億 5,243 万円  
各種検診・予防接種、ごみ・し尿処理などに使うお金

公債費 13 億 233 万円  
市債(市が借り入れたお金)の返済に使うお金

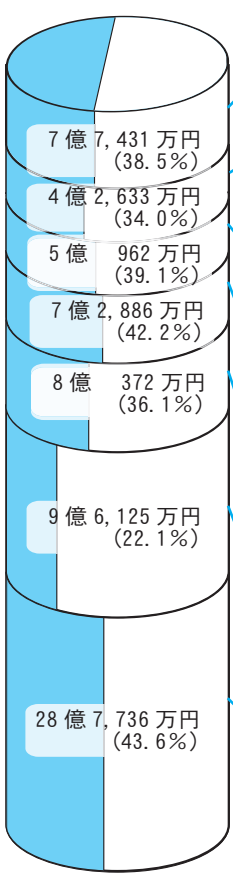
総務費 17 億 2,841 万円  
広報・広聴、企画、市税の徴収などに使うお金

教育費 22 億 2,573 万円  
小・中学校、生涯学習、スポーツ振興などに使うお金

土木費 43 億 4,364 万円  
道路や橋、公園などの整備・維持管理に使うお金

民生費 65 億 9,844 万円  
子育て支援や障がい者・高齢者などの福祉に使うお金

人件費や施設の光熱水費などは、各費目に含まれています。



## 特別会計

特別会計とは、特定の収入を特定の目的に使う場合など、一般会計と経理を区分するために設置している会計のことです。

| 会計名               | 予算現額          | 収入済額          | 収入率   | 支出済額          | 支出率   |
|-------------------|---------------|---------------|-------|---------------|-------|
| 国民健康保険特別会計        | 65 億 6,673 万円 | 34 億 9,863 万円 | 53.3% | 29 億 4,179 万円 | 44.8% |
| 後期高齢者医療特別会計       | 6 億 473 万円    | 2 億 1,787 万円  | 36.0% | 1 億 4,641 万円  | 24.2% |
| 介護保険特別会計          | 37 億 4,552 万円 | 17 億 9,761 万円 | 48.0% | 13 億 4,445 万円 | 35.9% |
| 農業集落排水事業特別会計      | 3,038 万円      | 1,644 万円      | 54.1% | 1,087 万円      | 35.8% |
| 公共下水道事業特別会計       | 10 億 8,307 万円 | 5 億 3,819 万円  | 49.7% | 3 億 6,280 万円  | 33.5% |
| 幸手駅西口土地区画整理事業特別会計 | 10 億 4,956 万円 | 2 億 6,453 万円  | 25.2% | 1 億 4,121 万円  | 13.5% |

## 企業会計(水道事業)

企業会計とは、特別会計のうち地方公営企業法の適用を受け、料金収入などでサービスを行う、企業性格の強い会計のことです。

| 区分    | 収入            |              |       | 支出            |              |       |
|-------|---------------|--------------|-------|---------------|--------------|-------|
|       | 予算現額          | 収入済額         | 収入率   | 予算現額          | 支出済額         | 支出率   |
| 収益的収支 | 11 億 3,112 万円 | 5 億 3,425 万円 | 47.2% | 10 億 5,124 万円 | 4 億 4,840 万円 | 42.7% |
| 資本的収支 | 3 億 939 万円    | 0 万円         | 0.0%  | 7 億 1,054 万円  | 7,545 万円     | 10.6% |

※資本的収支の収入と支出の差額は、内部留保資金により補てんされます。



## 平成30年度 個人住民税市町村表彰式 ～幸手市 納税率部門で受賞～

問合せ

納税課

☎ (43)1111 内線 4403



納税率を定めております。

特に、平成 24 年度からは、徴収体制の大幅な強化を図るため、徴収事務指導員 1 名、徴収調査員 4 名を配置いたしました。

この配置により、職員の徴収ノウハウの向上や財産調査の効率化が図られたほか、滞納額に応じた担当制を明確にし、職員が滞納整理に専念できる組織体制を構築することができました。

今後も納税事務の原点を忘れることなく、更なる納税率の向上に努めてまいります。

▶知事から表彰を受ける市長(写真:上)、市の取組みを説明する市長(写真:右)



## 目指せ！子育て応援日本一！

### 3歳児健診 スポットビジョンスクリーナーによる 視力検査を実施

問合せ 健康増進課 ☎ (42)8421



▶お子さんも、抱っこで安心！

市では、屈折異常(遠視、近視、乱視)や斜視などの異常を早期に発見するため、通常のランドルト環を用いた視力検査のほかに、スポットビジョンスクリーナーによる屈折検査を導入し、12月11日(火)午後1時受付の3歳児健康診査(本紙16頁でお知らせ)から実施します。

子どもの目の機能は生まれてから発達を続け、6歳までにほぼ完成しますが、全国的に実施している3歳児健康診査において強い屈折異常や斜視が見逃された場合、治療が遅れ十分な視力が得られないとの指摘もなされております。

市ではこの事態を受けて、幸手市医師会協力のもと実施するものです。

使用する機器は、操作が簡単で1分足らずで屈折異常や斜視などが発見できます。家庭で実施する視力検査と併用することで、より正確な視力の異常を早期に発見することが可能となります。